

intertek

news

Vol.65

ISO関連季刊情報誌(年4回発行)

CONTENTS

01 CSR監査について

～日本と海外での認知度の違い～

02 特集

03 ISO45001 労働安全衛生マネジメントシステム規格の構成及び特徴と取組みポイント

04 News&Topics

- ▶ 2019年「世界認定推進の日」
- ▶ 新セミナーのご案内
- ▶ GLOBALG.A.P. 基準文書のバージョンアップについて
- ▶ Q&A

05 審査の現場から

- ▶ お客様紹介
(株式会社岩崎製作所)
連載よみもの「審査員の心理」(環境編)
「取組みの計画策定(2)」

06 連載よみもの

- ▶ 審査員リレーエッセイ
「ISO9001:2015 6.1「リスク及び機会への取組み」(注記1)」
(審査員 平田 幸弘)
- ▶ 環境とISO14001
「COP24/IPCC 1.5°C特別報告」

07 お客様からのお便り

- ▶ 「電気工事を通じて技術を笑顔に」
(株式会社ホーム・アート)
- ▶ 「お客様の、そして地域社会のために」
(株式会社岡野エレクトロニクス)

08 研修コースのご案内

- ▶ ちょっといっぶく
- ▶ 研修コース案内
- ▶ 受講生からのお便り
(審査員 梅本 秀一)

インターテック・サーティフィケーション株式会社

発行 大阪事務所 ◇本誌に関するお問い合わせは大阪事務所まで◇

◆バックナンバーは、弊社ホームページにてご覧いただけます。

<http://ba.intertek-jpn.com/>

CSR監査について

～日本と海外での認知度の違い～

た ら さ わ え り
サプライヤーマネジメント部 多羅沢 依莉

平素よりインターテックをご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。SM(Supplier Management : サプライヤーマネジメント)部の多羅沢と申します。

私が担当している業務は、海外のクライアントからのご依頼による日本国内のサプライヤーに対するCSR(Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任)監査の実施が大多数を占めます。自分の語学力を活かして、海外の監査を実施する依頼元のクライアントや日本国内のサプライヤーと各国のインターテックオフィスとの間での、監査日程や費用、旅費などの付帯経費の調整、交渉から、その後の実際の監査業務までを主に行っております。

グローバル企業としてビジネスを行うには、国・地域・NGOなどと、信頼関係を築きあげていくことが何よりも重要です。国連やISOなどでは、ビジネスと人権・労働・環境・腐敗防止などに関する基準や枠組みが定められ、世界ではCSRの重要性がさらに高まりつつあります。欧州では、自社の特定したステークホルダー(利害関係者)との密接な協働が必要とされ、CSRに対する基本的な考え方を議論し、欧州全体としてのCSR活動の推進計画が実施されています。しかし、日本ではステークホルダーに対する意識が低く、組織の活動を推進していくうえで、誰が自組織のステークホルダーかを特定できていないことが多いのです。

監査員としてCSR監査をしていた時に感じたことですが、日本ではCSR監査はまだ十分にその重要性が認識されておらず、監査を受ける組織は殆ど準備不足の状態でした。初回のISO審査を受ける前に、殆どの会社はコンサルティング会社へのアプローチや必要書類の準備など、受審の準備を十分にしようとして審査に臨むと思われれます。しかしながら、CSR監査に関するコンサルティング会社は少なく、事前に準備態勢を十分に整えることができていない状況で監査を受審しているのが現状であると思います。

本年2月に、CSR監査に関して多くのお客様に認識していただくため、サプライヤーマネジメント部ではほぼ初めてとなるセミナーを開催いたしました。多業種にわたるお客様に参加していただき、セミナーを通して初めてCSR監査のことを知り、これからはCSR監査を積極的に受審したいとお声もいただきました。大変好評でしたので、これからも順次全国での開催を予定しております。

お客様のお役に立てるよう、さまざまなCSR関連のサービスを提供してまいりたいと思います。弊社が提供している監査サービスに関して、ぜひ一度弊社ホームページをご覧ください。ご不明な点、ご要望等ございましたら、ご遠慮なくサプライヤーマネジメント部までお問い合わせください。なお、セミナーを開催する際は弊社ホームページでご案内させていただきますので、是非ご参加いただければ幸いです。